

「ふくすいき

令和3年8月号

～福水企～」通信



企業団キャラクター
ビュータくん

この「ふくすいき～福水企～」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

イベント等の詳しい情報等が得られるように、タイトルにはできる限り URL を埋め込んでいます。  (埋め込みマーク)
また、印刷物は QR コードからアクセスできます。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

■ 企業団・構成団体の動き

● 「IoTセンサ等を活用した水道管漏水調査」実証プロジェクト開始〔7/1（木）～翌年3/1（火） 福岡市内〕（福岡市から情報提供いただきました）

福岡市では、水道管の漏水を早期に発見するため、計画的な漏水調査を実施していますが、調査範囲は市内全域に及び、また、交通量の多い交差点などの調査困難箇所の対応も必要であるため、より効率的・効果的な漏水調査方法を研究し、水道事業運営のスマート化を目指しています。

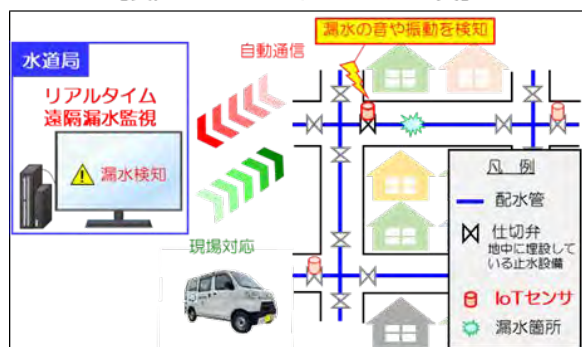
今回の実証プロジェクトは、漏水時に発生する微小な音や振動などを検知するIoTセンサを活用して、漏水を高度に判別する技術の検証に取り組むものです。

IoTセンサ活用によるリアルタイムの漏水監視が可能となれば、より早期に漏水の発見及び修理を行うことができ、市民生活への影響の軽減につながります。

（実証プロジェクトへの提案企業と実証フィールド）

- 株式会社日立製作所 九州支社 [実証フィールド：鉄道・国道の横断部、地下街周辺]
- フジテコム株式会社 九州支店 [実証フィールド：鉄道・国道の横断部、離島]

【実証プロジェクトのイメージ図】



実証フィールド



離島

幹線道路周辺



鉄道周辺

● 令和3年第2回幹事会の開催【開催しました】〔7/12（月）企業団運営協議会室〕

当企業団の構成団体（6市7町1企業団1事務組合）の水道関係の部課長を委員とする令和3年第2回幹事会を開催し、令和3年第2回議会（定例会）に提出予定の議案などを説明しました。

なお、開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策として、飛沫防止のため各委員間にアクリル板を設置するなどの対策を実施しました。

＜総務課 佐藤＞

●福岡導水施設地震対策2号トンネル併設水路下口工区工事の安全祈願祭〔7/21（水）大野城市〕

(独)水資源機構が事業主体となる福岡導水施設地震対策2号トンネル併設水路下口工区工事の安全祈願祭が執り行われ、利水者である当企業団からも中村企業長外3名が出席しました。

福岡導水は、筑後川より取水した水を大野城市にある当企業団の牛頸浄水場へ送る施設であり、福岡都市圏260万人の暮らしを支える重要なライフラインです。

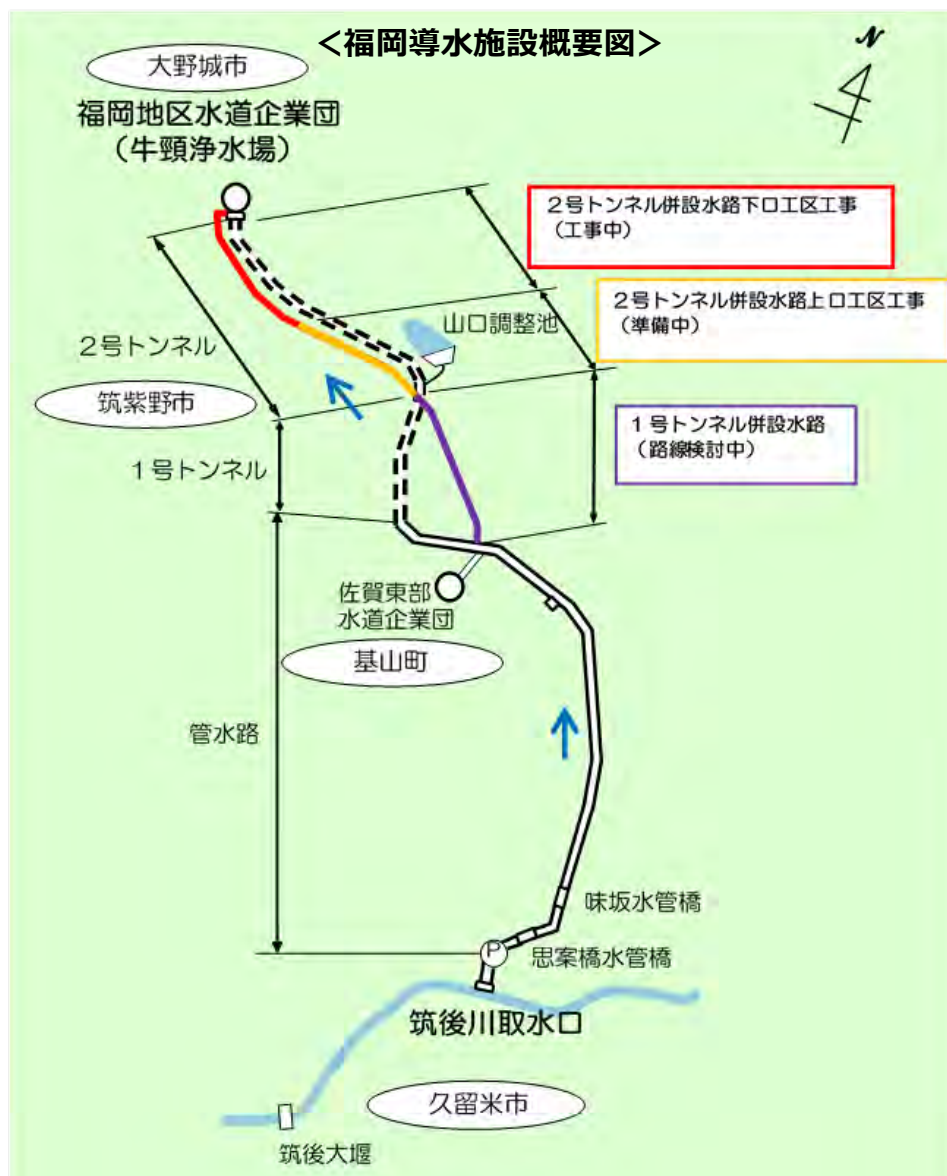
通水開始後37年が経過し、老朽化対策や耐震対策が必要となっていることから、平成30年度より新たな管路整備や耐震補強等を行う福岡導水施設地震対策事業が進められており、今回着工される工事のもその一環で、筑紫野市から大野城市間の既存の2号トンネルに並行する新たなトンネル（水路）を整備するものです。



安全祈願祭の様子

将来にわたって、福岡都市圏に水道用水を安定的に供給するための重要な事業であり、水資源機構と協力しながら、本工事の安全で着実な推進と事業効果の早期発現を図ってまいります。

＜計画調整課 藤岡＞



●福岡市水道局PR展『のぞいてみよう！じゃ口の向こう側』オンライン初開催！〔7/21（水）～8/31（火）WEB〕（福岡市から情報提供いただきました）

福岡市では、インターネットの特設サイトに、水道水がじゃ口に届くまでの過程や水道の歴史などをわかりやすく解説した動画を掲載しました。主に小学生を対象に、普段当たり前に使っている水道に関心を持ってもらえる内容となっています。また、動画の最後にあるクイズの答えを水道局に送っていただいた方の中から抽選で賞品をプレゼントします。

賞品には、アビスパ福岡や世界水泳など福岡市を盛り上げるスポーツに関係するもの（サイン、グッズ）や水源地域に関係するもの（特産品など）などがあります。皆さんも参加されてみませんか。



サイトイメージ



動画の一場面



●令和3年第2回運営協議会【開催しました】〔7/27（火）WEB会議〕

当企業団の構成団体の首長で構成する令和3年第2回運営協議会を開催しました。

運営協議会では、8月23日及び24日に開催する令和3年第2回議会（定例会）に提出予定の令和2年度決算等について協議が行われ、いずれも原案どおり議会に提出することが了承されました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からZoomによるWeb会議形式で開催しました。



運営協議会の様子

<総務課 佐藤>

●令和3年度福岡地区水道企業団定期監査概況説明〔7/30（金） 企業団大会議室〕

当企業団の定期監査が実施されるにあたり、大森^{おおもり}一馬^{かずま}代表監査委員及び鞭馬^{むちま}直澄^{なおずみ}監査委員に対して、組織及び職員配置、予算決算や主要事業の状況、及び前回の監査結果に対する措置等の説明を行いました。

監査委員からは、海水淡水化センターの設備更新についての質問があり、計画調整課長より更新の方向性、企業長より海水淡水化施設の意義などについて回答しました。

今後、令和2年度の事務・事業について、正確に、法令等に則って適正に行われているか、また、経済的かつ効率的に運営され、その目的を達成しているかという視点から、8月から10月にかけて各所属で実地調査等が行われます。

<監査事務局 一ノ瀬>

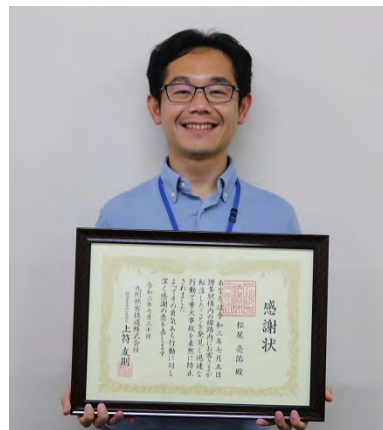
●当企業団 計画調整課の松尾さんが JR 九州から感謝状を贈られました〔7/30（金）〕

以下、ご本人の談話です。

7月5日（月）午後5時20分頃、JR 博多駅の2番ホームで電車を待っていたとき、ドサッという音を聞き、線路を見ると高齢の女性がホームから転落し倒れていました。

とっさに、線路に降りて、ホームに抱え上げたようにしましたが、意識がなく1人では難しかったため、居合わせた2人の方に協力していただき、線路から抱え上げました。その間、駅員が駅ホームの列車非常停止ボタンを押していたため、落ち着いて救助活動を行うことができ、女性は、すぐに救急車で運ばれていきました。

たまたま居合わせて、とっさの行動でしたが、重大事故を未然に防ぐことができてよかったと思っています。



●昭和の特撮ヒーロー・アイアンキングが節水をPR〔8/1（日）～7（土）福岡都市圏ほか〕

水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため、毎年8月1日を「水の日」、この日を初日とする1週間（8月1日～7日）を「水の週間」と1977年（昭和52年）5月31日の閣議了解により定められました。

平成26年には、水循環基本法において、「水の日」は8月1日とするとされ、国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解や関心を深める日として法定化されています。

当企業団では、これに合わせて、水をエネルギーに活躍した往年の特撮ヒーロー「アイアンキング」を使ったB2サイズの広報用のポスター及びポケットティッシュを作成し、構成団体や水源地域の施設などに配付。窓口などでの掲示・配布をお願いしました。

この企画はSNSで、「懐かしい」「斬新」「ポスターが欲しい」といった声を多数いただくなど好評を博し、ネットニュースなどにも取り上げられました。

＜総務課 中川＞



ポスター



ポケットティッシュ

■ ダムいっとう！

このコーナーでは、主に福岡地区水道企業団や構成団体の水源となっているダムを探訪して、担当者からお話をうかがい、その特色や魅力に迫ります。

今月号についてもコロナ対策のためダム訪問は自粛することとし、代わりに筑後川四堰の一つ、恵利堰取材しました。

五庄屋と言えば、先月号で紹介した、大石堰の五庄屋が有名ですが、恵利堰の工事についても別の五庄屋の物語があります。



恵利堰



目	的	農業用水
所	在	地 三井郡大刀洗町大字三川
河	川	名 筑後川水系筑後川
型	式	固定堰
利	水	者 三井郡床島堰土地改良区
管	理	者 三井郡床島堰土地改良区
完	成	年 1712 年

恵利堰のあらまし

江戸時代中期、筑後川北岸の現三井郡一帯の土地は川面より高いため、水田として利用されず、荒地荒畑のまま放置され、わずかな田畑もたびたび干害に襲われ、農民は飢餓に迫られる状態でした。

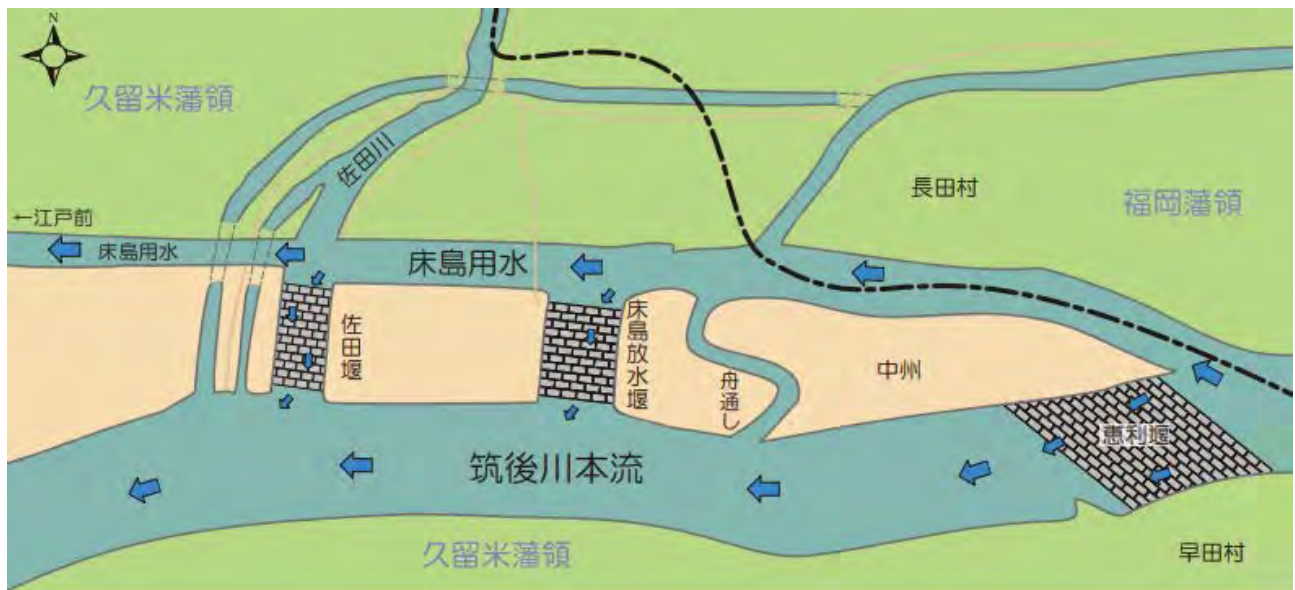
1710 年、この年も干天に見舞われ、農民の間では、離村・離農するものが多く、これを憂いた鏡村庄屋 高山六右衛門は八重亀村庄屋 秋山新左衛門、高島村庄屋 鹿毛甚右衛門、稲数村庄屋 中垣清右衛門と協議し同年 10 月に堰堤築造、水路開設のための請願書を郡奉行に提出しました。

この請願は、時の久留米藩主有馬則維の即決するところとなり、工事監督として草野又六らを派遣して工事に着手しようとしたが、このことを聞いた福岡藩領民 11 カ村代表が、堰堤築造後の洪水時には、筑後川沿岸の福岡藩領が水没することを理由に抗議書を提出したため工事は 1 年間で中止することとなりました。

その後高山六右衛門の必死の運動が実を結び、水門口を約 2.2km 下流に移して 1712 年 1 月に工事に着手。堰の長さは約 310m で、流れも急なことから、水を正面から堰止めるのは大変な難工事となりました。工事にあたっては、耳納山から数十万個の巨石を運び、小石は俵に詰めて 50 万俵の石俵をつくり、これを 3,500 人の人夫によって一斉に川底に沈め不完全ながらも恵利堰の築造に成功し

たそうです。

工事後、さらに水量を確保するため佐田堰を、流量調整のため床島放水堰を設け、同年 4 月に一連の工事は完成しました。この三つの堰を総称して床島堰と呼ばれるようになったそうです。



床島堰渠図

―― 藩境

1714 年には、さらに水量を増やそうと、久留米藩は、多くの水が流れる恵利堰の舟通しを廃止し、新たに中洲を開削して舟通しをつくる改修工事に着手。

この工事では、舟通しを設置する中洲の領有権を巡って久留米藩と福岡藩が激しく対立し、自村には堰による利益がないにもかかわらず、早田村の中洲所有権を主張して工事の推進に尽力していた早田村庄屋 丸林善左衛門が福岡藩に拉致され約 3 か月監禁されるという事件まで発生しました。工事の完成後、善左衛門は村に帰されましたが、この時の苦労が元で亡くなりました。

恵利堰からの受水により、1736 年には受益地が約 1,900ha に及んだそうです。

堰堤築造の請願書を郡奉行に提出した鏡村庄屋 高山六右衛門外 3 名と舟通し開削に尽力した早田村庄屋 丸林善左衛門を合わせて五庄屋と呼ばれており、工事を監督した草野又六と共に水神として大刀洗町の大堰神社に祀られています。

恵利堰は、昭和 28 年の大出水により災害を被り、昭和 40 年に現在の形に復旧しました。



大堰神社

語り継がれる五庄屋の物語



劇「とこしま堰物語」の一場面

久留米市立 ^{かなしま} 金島 小学校の校歌の一節では「思えば遠き 五庄屋の身をささげたる いさおしに 秋天高く 地は肥えて 垂穂豊けき わが村の 平和に永久の 光あれ」と五庄屋の偉功が称えられています。

また、毎年 11 月に全校をあげて取り組んでいる劇「とこしま堰物語」でも五庄屋の偉功が伝え続けられています。

この劇は、水循環系の健全化や水災害に対する安全性の向上に寄与する活動を対象とした日本水大賞を 2017 年に受賞しました。

＜総務課 中川＞

水 源 情 報

企業団ホームページの「水源情報」は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、
【水源情報】が載っています
ので、見てね！！



・企業団ホームページ「水源情報」アドレス

<http://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>



編 集 後 記

首都圏等では、新型コロナウイルスの感染者の拡大が続き、まん延防止等重点措置から8月2日に緊急事態宣言に移行しました。

そのような厳しい状況の中、東京オリンピック2020が開催されました。

コロナ対策、猛暑など選手は大変だったと思いますが、テレビでも選手の全力プレーは伝わってきました。陸上、体操、柔道、水泳や卓球、バレー・バスケットボール等のレギュラー種目では、日本の選手の活躍を見ることができましたし、スケートボード、サーフィン、バスケット3×3などの新しい競技は、初めて見るものでルールもよくわからないのですが、それでも、解説を聞きながら結構面白く見ることができました。

福岡は、ワクチン接種は進んでいるものの、感染力の強い変異株の影響もあり、感染が急拡大しています。このため、8月2日に予定していた「水の週間」のJR博多駅での街頭キャンペーンは中止となり、また、8月17日の福岡、佐賀、長崎、熊本の沿岸四県が参加する海浜清掃活動の「有明海クリーンアップ作戦」についても、福岡県側は中止となりました。

秋頃からは、流域自治体等とのさまざまな交流事業が予定されておりますので、感染が減少し、開催できるように祈っています。

九州北部は、7月13日に梅雨明けし、その後は、連日、熱中症警戒アラートが続く猛暑となっています。梅雨の期間は約2カ月に及びましたが、降水量は平年の6割程度であり、梅雨明け後も降雨が少ない状況のため、今後注意が必要と思います。

現在までは、九州では大きな災害はありませんでしたが、熱海市では大雨が降り、山から市街地を通り海まで流れ込む土石流が発生。22人が亡くなり、多くの建物が損壊しました。違法な盛土が原因となった人災という面もあるようですが、山から離れた市街地でも土石流に巻き込まれるというのは予想外でした。



少しでも涼しさを感じてください
五塔の滝（篠栗町）です

今後、台風のシーズンを迎えるにあたり、災害はいつでもどこでも起こることを考え、備えが必要だと思います。

連日、暑い日が続いています。みなさまご自愛ください。

<田>

★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いします。

～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください

福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

たくさんの情報提供を
お待ちしております！！



福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS（Twitter、Facebook ページ）を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすくタイムリーに情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ、SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団 H P

<http://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索

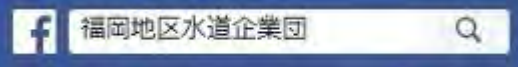


福岡地区水道企業団 Twitter

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Facebook ページ



福岡地区水道企業団 YouTube ページ



福岡地区水道企業団

